

自分が感じたままの絵を
29 分で
描けるようになることは
本当に可能なのか？
「ハイ!可能です」



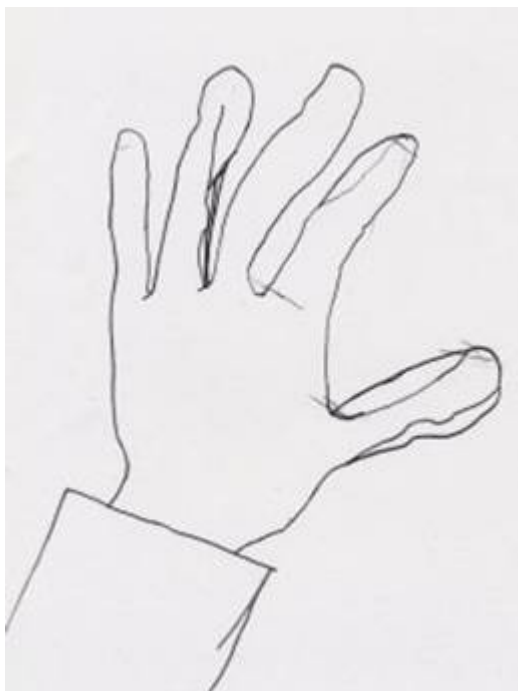
1日29分間、この極秘プログラムに書かれて
いる方法で絵を描いてください。

81人にこの方法を試してもらいましたが、
8割を超える人が29分間で
ここまで絵が描けるようになりました。

ちなみに半数以上が絵の初心者です。



【最初に実力で描いた絵】



描この絵は 6 分で終了しました。
第 2 回目に続きます。

【「描く動作」を知って 1 回目の絵】



【描く動作」を知って2回目の絵】
説明の時間を入れて60分でここまで上達しました。

なぜ描いても描いても納得いく絵が描けないのか？

いくら描いてもあなたの思い通りの絵が描けない
その原因はいたってシンプルです。

「描く動作」を知らないからです。
感性や才能のあるなしではありません。

簡単なある「描く動作」さえ知ることができれば
今日から納得のいく絵が描けるようになります。

一生懸命にやっても
どんなに時間を費やして描いていても
そもそも方法を知らなければできないのは当たり前。

やればやるほど悪いクセをつけてしまう
という悪循環にはまってしまうのがオチです。

どんなに手術をしてもうまくいかないんだよね。
こんな悩みを持っている外科医はいますか？
そんな医者にかかったら命取りです。

上手く飛ばせないんだよね
と悩んでいるパイロットがいますか？
大事故が起きますよね。

外科医は手術の技術を学んでいます。
パイロットは飛行機の操縦方法を学んでいます。

絵も同じです。描く方法を知らなければ
まともな絵なんて描けるわけがありません。

あなたの絵に関する悩みの大半は
この「描く動作」を知ることで解消されます。

感性が大切、個性尊重、絵は自由、好きに描けばいい..
このような考えの人は多いです。
テクニックは後から付いてくるという考えもあります。

それは間違いではありません。
でも、描き方の基本を軽視する風潮には
真っ向から反対しなければなりません。

「描く動作」さえ学んでいればソックリに描くことはたやすい。

その方法を知っているかないかで
あなたの制作者としての未来は大きく変わります。

絵を描く時にはモデルや資料を使います。
それらを紙の上に写生するのは結構な労力ですよ。

「描く動作」を知ることで、取材や下絵作り時に
いつも感じていたストレスがなくなるのです。

「描く動作」は、なぜか教えられていません。
驚くほどきちんと教えられていません。

小中学校の図工や美術の時間はもとより
美術予備校や絵画教室などでも同じです。

あなたの絵の「ここができていない」についてはズバリ指摘してくれます。
絵を描くときの考え方やものの見方も教えてくれます。

でも、具体的に何をどうすればよいのか
「描く動作」までは教えてくれません。

彼らのアドバイスは例えばこのようなものです。

「平面の上に置かれているように見えないね」
「裏側があるように描いてみて」
「もっと重さを感じさせるようにした方がいいね」

こんなことを言われても「????」
となりませんか？

「なるほど、確かにそうだ」と思えたとしても
では、どうすればそのように表現できるのかという
一番知りたい部分は教えてもらえないことが多いです。

そこは自分で何とかする部分だ
と言われるかもしれません。

職人の世界では、親方が懇切丁寧に教えたりしませんでした。
弟子は下働きの合間に親方の技を見て覚えるのが常でした。

法隆寺の昭和の大改修を指揮した
西岡常一という高名な宮大工がいました。

彼は祖父に弟子入りして修行したのですが
技術的なことは何一つ教えてもらえなかったそうです。

1度だけ、極薄のカンナの削りくずをもらったそうです。
黙って渡されたかんなくずがたったの一枚。

西岡氏はその削りくずと同じしなやかさのくずが出るまで
ひたすらカンナ削りを繰り返したと言います。

教えてもらったことはすぐ忘れてしまう。
自分で学んだことは一生忘れない。

だから教えないのだと西岡氏は言っています。

人間の学習についての深い洞察から得られた修行方法だと言えます。

画家の修業にも似たような所があります。私の師もほとんど教えませんでした。

「オレは教えない、オレから学べなかつたらそれまでということだ」

この教育方法は個人的には好きです。ですがかなりの遠回りを強いられます。

その間に、心が折れて絵の世界から去っていく人もたくさん出てきます。

ひょっとしたらあなたもそのような一人だったのかもしれない。

今からでも遅くありません。

この「描く動作」を知ることでムダにしてきた時間を一気に挽回できます。

あなたがこれから絵を学びたいなと思っているのであれば最短コースでハイレベルの描写力を習得できます。

絵を「描く動作」を知るのに遅すぎることはありません。今ここからの劇的進化はいつでも可能なのです。

思い通りに絵が描けない2つの原因..

これまで数百人の方に絵を教えてきましたが思い通りの絵が描けない人には”ある共通点”があったのです。それは・・

1:問題にフォーカスしている

ということです。

人は問題点を見ているときには
エネルギーは湧いてきません。

例えば、毎日不況だ不況だと言っている人が

「よし、不況だから頑張ろう!!」

と考えてエネルギーに
バリバリ働くでしょうか？

おそらく、

「どうせ不況だし、頑張ったところで手柄は
上司に奪われるし、会社がつぶれるときは
潰れるからクビにならない程度にやればいいや」

とやる気が起きなくなってしまうのが
人間だと思います。

ところが得たい結果だけを見れば
エネルギーは自然に湧いてきます。

「いつもどうしてこうなるんだ!」

から、

「じゃあ、どうすれば達成できるだろう?」

に思考パターンが切り変わるんですね。

「必然性が見えない」(問題)ではなくて
「必然性が欲しい」(達成したいこと)と表現を
変えるだけで見える世界が変わります。

私たちはどちらかというと
問題にフォーカスする傾向があります。

ニュースを見ていて、

「また殺人事件か最近、物騒になったな」

と考えると毎日悪いニュースばかり
目に飛び込んでくるようになります。

「飛び降り自殺をはかった男性を
通りすがりの大学生が助けた」

という、いいニュースが流れていても
まったく目に入りません。

もしあなたが今まで問題点にフォーカスした
考え方、言葉を発していたのなら、今日から
得たい結果にフォーカスしていきましょう。
例えば、

「描いても描いても
納得いく絵が描けない..どうしていつもこうなんだ!」

これを得たい結果にフォーカスする
表現に変えてみるとこうなります。

「描いて描いて描きまくって
納得いく絵を描ける自分になります」

随分印象が変わりますよね。

「納得のいく絵が描けない」とか
「デッサンが下手だな」とか
自分の状態を問題として見ているときには
私たちは自分を客観的に捉えることが
できなくなっています。

苦しみの原因がよく見えていないことが
往々にしてあるものです。

正にその状態だとあなたが思われるならば
まず、何に納得していないのかを
明らかにする必要があります。

最初にお話しした、

「自分がいまどんな状況にあるのか？」

を知るということですね。

- ・ 技術的な未熟さ
- ・ 本当に描きたいものなのかという疑問
- ・ イメージと描いた絵の印象とズれていることへの不満
- ・ これでは認めてもらえないという焦り

あなたの正直な気持ちをつかんでください。

自分を客観視する有効な方法として
紙に書き出してみるというのがあります。

「納得できる絵に到達するプロセス」

<http://ameblo.jp/kgwqr958/entry-11408385066.html>

書き出す過程で何にこだわっていたのか

ある程度まで明らかになります。
はっきりは分からなくても、

「なんとなくこういうことかな」
ぐらいは分かってきます。

最初からすべて完璧にはわからないので
まずはここまでやってみてください。

モヤモヤしていた頭の中がスッキリ
してきます。

頭の中だけで考え続けているかぎり、
解決することはかなり難しいです。

紙に書き出すことで客観的に
判断できるようになります。

ぜひ、試してみてください。

思い通りの絵が描けない人に

もう一つ共通しているのが..

2:絵を「描く動作」を持っていない

ことです。

「描く動作」がないことのデメリットは
強調しても強調しすぎることはありません。

なぜなら、対象をぼんやりとしか
見ることができないからです。

このままですと、なんとなくピンぼけした
雑な印象を与える絵しか描けません。

完成度が低い絵になってしまいます。

対象をぼんやり見ることも大切です。

しかし、わずかな線や色の変化が
くっきりと見える目も必要です。

両方の見え方が必要なのです。

「描く動作」がもたらしてくれるのは
わずかな変化を捉える目とそっくりに描ける手です。

絵を描く時、我々の目はものすごく忙しく動いています。

全体的にながめたり、部分を細かく見たり
部分と全体のバランスを見たり..
とにかく忙しく働いています。

全体と部分をごく短時間に
往復させて見ることになります。

「描く動作」は部分を見て描くときに作動します。

なんとなくもやっとしている絵を見たことはないですか？

人物であれば、指の輪郭線がはっきりしなかったり
髪の流れが直線的で雑な印象を受けてしまったり

全体のバランスはなんとなくいいのだけれど
肝心の目鼻口が適当に描かれているような気がする。

全体の配置は描けていても
部分が描けていない絵です。

神は細部に宿ると言います。

絵も細部をおろそかにしては
本当に納得のいくものになりません。

また、細部が弱い絵は絵の構図や全体のバランス
などでも問題を抱えているものです。

最小単位の一筆が無数に集まって一枚の絵が完成します。
部分の積み重ねが全体を構築します。

ですからごく小さな変化を見逃さない
「描く動作」は絵画の最小単位の技術であり
最大の武器とも言えます。

**絵は最初の一筆に始まり
最後の一筆に終わります。**

細胞分裂を繰り返しながら私たちが人間になったように
一枚の絵は無数の「描く動作」による集積体です。

絵を描くことはそれだけで
かなりのエネルギーが必要です。

ですから、目に映る形をどれだけエネルギーのロス
を少なくして描けるかどうかは大きな問題なのです。

ルネサンス期の画家達もなるべくその負担を減らそうと
さまざまな仕掛けを工夫したと言われていました。

「描く動作」を持っていなければ、
形を写し取ることにほとんどのエネルギーを

消費してしまって疲れ切ってしまいます。

写生大会の下書きで燃え尽きる小学生のように。

自分に厳しい人は、思うように描けない自分を責め
フラストレーションが蓄積して精神的に参ってしまいます。

描きはじめる前から思うように描けない自分に
心が折れてしまいます。

どんなにあがいたって私はへたくそだ…。

でも、「描く動作」を持っていれば
こんな悩みは即座に消えてなくなります。

そっくりに描くことはもはやストレスではなく
むしろ快感とさえ感じるようになるからです。

描くことでリフレッシュできるとさえ言えます。

あなたのデッサンへのコンプレックスはそのまま
デッサンを描きたくてたまらない欲求に転換します。

**歴史に名を残す画家達も
「描く動作」を自在に操っていました。**

ゴッホは27歳の時に
画家になることを決意します。

その当時の人物デッサンは
頭が不釣り合いに大きかったりして
バランスも悪く素人っぽい印象があります。

ところが数年後には写実性と精神性を
兼ね備えた素晴らしいデッサンを描いています。

たゆまぬ修練がもたらしたデッサンスキルは、
色彩と線描の奇跡的な統合という形で実結します。

マティスはフォービズムの創始者として
美術史にその名を刻んでいます。

ピカソと並び称される巨匠です。

彼は、見たとおりに描くのではなく、簡略化されたリズムカルな線や激しい色彩で「野獣のような」絵を描きました。

それでもマティスは、若い画家が最初から自分と同じような絵を描くことを好みませんでした。

「まずデッサンをしっかり学ぶように」としきりに言っています。

彼自身、若い頃は徹底した写実に打ち込んだ時期があったのです。

デッサンは絵画、彫刻、デザイン、建築などあらゆる視覚表現の基本と言えます。

そうそう、

もうひとつ「描く動作」を知らないことのデメリットをお伝えしなくてははいけません。

ある意味、描くスキルを得ることより大切な話しです。

それは、感性の未開発という問題です。

ごく短時間で得られる「描く動作」なのですがこれを持つ人と持たない人との見える世界はかなり違ったものになります。

同じものを見ていても感じるものが違うのです。

細かい部分に目線が入っていかない間はぼんやりとしか世界を把握できていません。

だから絵がぼんやりとなってしまうのでしたね。

実は、日常生活の思考面でも同じことが起きています。

偽物をつかまされる
何を見ても感動できない
いいものを見てもその価値が分からない
ぼんやりしていて考えが甘い

このようなぼうっとした態度の人は近くにいませんか？

もしあなた自身と同じような傾向があるならば
「描く動作」の習得でかなりの改善が見られるでしょう。

こんな具合に↓

本物と偽物の見分けが付く
何でも日常の景色に感動できるようになる
絵や彫刻などの鑑賞力が高まる
精神的な安定感が得られる

目を鍛える過程で、脳が刺激されるとか
そのような難しいことは分かりませんが
副次的な効果には目を見張るものがあります。

「描く動作」が約束してくれるのは
確実なデッサン力だけではないということです。

顕微鏡レベルでの視力をもたらし
克明に紙に写し取るスキルなのです。

尋常でない程とぎすまされた感覚が覚醒します。
あなたはその恩恵を受け取ることができます。

その具体的な方法を極秘プログラムとして
まとめました。

実際に81人にこの方法を試してもらいましたが、
8割を超える人が29分間でここまで絵が
描けるようになりました。



【最初に実力で描いた絵】



【「描く動作」を知って1回目の絵】
この絵は6分で終了しました。
第2回目に続きます。



【「描く動作」を知って2回目の絵】

ちなみに半数以上が絵を描いたことのない初心者でした。

受講者の感想です。

この時間がなかったらこんなにうまく描けるようにはならなかったと思う。(中 1 男性)

家族に見せたら、**本当におまえが描いたの?**って信じてもらえませんでした。(25 歳 女性)

子供の頃から絵だけはダメだと思ってたんですが描けるようになるんですね。(31 歳 男性)

「松永さん、話しはだいたい分かりました。でも、なぜそんなに貴重なプログラムを無料で提供するのですか?」

そんな疑問がわいてきますか?

承知しました。

思い通りに描けない理由が二つあるといただきました。

- 1:問題にフォーカスしている
- 2:絵を「描く動作」を持っていない

この二つでしたね。

私がこの二つの壁をどうやって乗り越えたかをお話しして説明にかえます。

私が「描く動作」を獲得する数年前のことです。

その当時の私は絵に対する熱意が持てずに悶々とした日々を送っていました。

師匠からも認められ周囲からは羨望の眼差しを向けることもしばしばでした。

でも、誰にも言えずに悩んでいることがありました。

それは、

「絵を描く必然性が感じられない」

という悩みです。

なんだそれ？

「それなら描くのやめれば」

と言われてしまいそうですね。

でも、27年前の私には絵の他に自分を証明できる方法がありませんでした。

止めることなど考えられません。
自分の取り柄は絵しかないのですから。

止めてしまう選択はあり得ないのです。

でも、本当に描きたいと思っているわけでもない…。

こんな中途半端な状態であることが
苦しくて仕方がなかったのです。

エネルギーはだらだらとこぼれ落ち
いつもうつろな目をしていました。

「暗い」とよく言われました。

それもまた悩みに拍車をかけました。

そんな中、ある人との出会いが
私の目を見開かせることになりました。

そして、今できることにベストを尽くすしかない
と考えられるようになりました。
(青春時代によくある出会いかなと思います)

私は問題にフォーカスしている自分の傾向に気づき
その壁を8割方乗り越えたと感じました。

ここからが皆さんにお伝えしたいことです。

私は問題にフォーカスすることを
ストップできるようになりました。

それは大きな進歩でしたし、
絵の表現力もグッと深まっていきました。

未熟でも自分で選んだ道を行け!
そんな気概だけはありました。

しかし、デッサンが弱いという
スキル面での課題はその後もずっと残りました。

絵を「描く動作」を持っていないことが
私を悩ませ続けたのです。

自分のデッサン力のなさは常日頃痛感していました。

そして、絵の勉強をはじめたときからずっと
スキルを高めようと努力を続けていました。

でも、できないことはできないものです(笑)。

**デッサン力を身につける壁は
決して高くはありません。**

でも、その壁がどこにあって
どうやって乗り越えるのかを知らない限り
どんなに低い壁でも乗り越えることは
1人だけの力では本当に難しいものです。

初めからその壁を乗り越えている人もいます。

でも、彼らは無意識でやっており他人に説明はできません。

私も今でこそ「簡単ですよ~」なんて軽く言ってますが
「描く動作」を手に入れたのは数年間の探求の末でした。

知った後は、なんだこんなことだったのか
と拍子抜けするくらい簡単なことでした。

これを数年前に知っていたら
俺の可能性はもっと広がったに違いない...

ものすごい徒労感とともに
ふつつつとした怒りがこみ上げてきました。

こんなことも知らなかった自分への怒り
悩みながら費やしてきた
修練の時間が徒労だったのではという疑念

こんなことのために何年も苦勞してきただなんて...

「描く動作」を手に入れた喜びをかみしめるよりも
ひどく疲れている自分がいました。

私は既にプロへの道をあきらめており

ライスワークのための仕事をやっていました。

でも、「描く動作」を初めから知っていたら..
プロへの道を歩んでいたかもしれないな。

そんな声も日常の忙しさの中に
埋もれていきました。

それから年月は流れ
ひょんなことから人前で絵を教える機会を得ました。
試しにやってみたら上に書いたような結果が出たわけです。

何回か、やってみました。

どこでもほとんどの人が瞬間的に上手くなりました。
これは、本物だぞ!

ちょっと興奮してきました。

少しずつ改良して説明をシンプルにしていきました。
短い時間で、誰にでも理解できるように説明するためです。

絵を教えている知人に「使ってみて!」
と手作りの教材を渡したりもしました。

ですが、彼ら指導しても生徒さんのデッサン力は
さほど上達しませんでした。

あれ?なんで。

拍子抜けしました。

何が違うのか考えましたが
よくわかりません。

今のところ、価値を感じている人からしか
人には伝わらないのかなと思っています。

私は、絵の指導者に教えることを止め
私自身の文章を通して人に実践してもらった方が
早いのではないかと考えるようになりました。

絵がうまくなりたい人ならば少々長い文章も
読むだろうし結果を出したいならば実践するはず。

より多くの人に「描く動作」を試してもらうには
文章で伝える方が早いんじゃないだろうか。

この方法が広がれば
私のように何年間も無駄な時間を
浪費することもなくなる。

そして自分が望む表現者としての未来を
たくさんの人が手にすることができるかもしれない。

そうなれば、自分の人生も
意味があったってことになるな。

そんなことを考えながら
このプログラムをまとめました。

**私は自分の過去に意義を見いだせる。
あなたは数年分のデッサン練習時間を節約できる。**

これで Win-Win というわけです。
ですから、これを読んでピンと来た人は

必ずプログラムを手に入れてください。

そして、必ず実践してください。

ご理解いただけましたか？

**この極秘プログラムに隠されている
ほんの一部の秘密を紹介すると：**

- ・ さっきの絵は何だったのか？描いた本人が首をかしげた
**6分間で小学2年生レベルから美大生レベルにステップアップで
きる松永式4ステップ実践法とは？**
- ・ 美術作家4つの表現者タイプとは？あなた自身のタイプを

知ることによってこれから取るべき行動が見えてくるでしょう

- ・ 思い通りの絵を描くコンパスを手に入れるための3つの神器とは？
- ・ 一生懸命見ているのになぜ描けないのだろう...実は多くの人知らずにウソの線を描いていたのです・・・子どもでもできた、たった2つのシンプルな行為とは？
- ・ **マティスやピカソなど大物画家たちが密かにおこなっていたデッサンを身につけるための2つのアプローチとは？**
- ・ 初心者が描くのに最適な”ある”モチーフとは？
- ・ 混乱しながら上達する方法-実は混乱することで見ている対象をそっくりコピーしたようなデッサンがかけることが判明しました...その秘密を具体的にシェア!

...他にもここでは紹介しきれない秘密を公開!

これらの知恵を極秘プログラムの中でわかりやすく解説しています。

ステップバイステップでワークをこなしていくことでだれでもそっくりに描けるようになります。

具体的すぎるほど具体的に説明を加えなぜ上手くなるのかそのメカニズムについてわかりやすくお話ししています。

✓ **今から絵を描こうと思っているけれどどうやって描けばいいかわからない**

✓ **今よりもっと上手く絵を描きたい**

✓ **デッサン力にいまいち自信がなくて悩んでいる**

そんなあなたが欲しかったソックリに描けるスキルがたったの5ステップで簡単に手に入ります。

ステップ1：この記事最後まで読む

ステップ2：一番最後にある申込用ページから申し込む

ステップ3：松永からプログラムを手に入れて読む

ステップ4：6分間のワークを行って劇的に上達する

ステップ5：デッサン力不足の悩みから開放される

15分で読めて、自分が感じたままの絵を29分で描けるようになります。

あなたは絵を「描く動作」を手に入れることができると私は信じています。

ですが正直にいうと、

何事も完璧ということはありません。
ひょっとしたらこのプログラムに足りない部分があるやもしれません。

ですので、あなたに実践した結果や感想をこっそり教えてもらいたいと思っています。

私は無料でこのプログラムを提供します。

その代わりにあなたには実践結果を報告していただきたいということです。

報告のあった方には私からのフォローメールが届きます。

サポート付きの無料プログラムです。

念のため言っておきますが、
今回の無料プログラムで提供する内容は
普通の絵画教室で教えられるレベル以上のものです。

美大受験を視野に入れた人レベルの
デッサン力にも十分対応する内容です。

ちなみに、美術予備校であれば週 1 回で
年間 20 万円以上は必要です。

絵画教室でも月謝相場は 5,000 円~10,000 円です。
年間 6 万円~12 万円かかります。

このプログラムは本来無料で提供する
レベルの内容ではありません。

有料でも、見るとおりに形を写し描く方法について
教えてくれる教育機関は極めて少ないです。
どの教室、その予備校でも
教えてくれるわけではありません。

絵の先生に頼んだからといって
みんなが教えてくれるとはかぎりません。

自分でできることをそれができない人に
教えることはとても難しいからです。

名選手名監督ならず、なのです。
描けない人の気持ちが分からない。
どうやったら描けるようにできるのか
その方法がわからない。

そんな人たちがたくさんのお金をもらって
絵を教えています。

ニコニコしていながら、内心

「何でこんなこともできないんだよ!」
「下手くそだな」

と思っている人が多いのです。

るくな手ほどきもせず
最後には先生が仕上げてしまう
なんてこともよくあります。

今ならあなたは有料レベルの知恵とスキルを
無料で得ることができます。

【極秘 プログラム】

ド素人がたった6分で見たままに描けるようになる！

『デッサンから劇的進化ワープ術』



2012年11月24日
松永亮

『デッサンから劇的進化ワープ術』
<A4版35ページ>

<http://form.mag2.com/kucrufrouh>

ぜひ描きたい絵が描けるようになる
そのような日常にワープしてください。

松永亮

matudrawingmastery@gmail.com